

い な づ ま

題字 小 寺 寛 一

発行所 函館地方電気工事協同組合
 編集 総 務 部
 住 所 函館市日乃出町7番22号
 印刷所 有限会社 島 山 印 刷



はこだて未来大学 平成12年4月開学

理事長就任あいさつ

理事長
吉 田 要



去る五月二十六日の第五十二回通常総代会において役員改選が行なわれ、不肖私が理事長に再任されました。国内経済状況もいまだ回復せず、業界としても多難な時期にあたり気持ちを新たに一生懸命組合と業界の為に努力を致す覚悟でありますので宜しくお願いを申し上げます。

昨年度を顧りみますと国内経済は各種施策の浸透などで景気の底打ち状態を脱したと言われておりますが企業倒産の増加・失業率の上昇など依然として厳しい経済状況が続いた一年でありました。

この様な状況の中で我が組合といたしましては、昨年の総代会で申し述べました様に年度の予算を収入支出とも前年決算の約一〇％減というキビシイ編成で臨み無駄のない有効適正な運営をめざし努力を致して参りました。結果として本決算では昨十年度を上廻る二二二〇万円の黒字決算となり、組合員の皆様に対し前年度を上廻る「利用分量配当」と更に昨年度に引続き「出資配当」を行なうことと致しました。

又、総務・技術・事業の各委員会の所管事項の中で昨十一年度の運営、諸事業、諸行事その他につきましても予定通り順調に消化する事が出来ました。

組合員の皆様のご支援ご協力に対し感謝を申し上げます。

さて本年度であります、北海道における公共工事のうち土木関連工事については政策的に例年並みの発

注になる様でこれはこれで大変結構な事であり、私共が直接関係のあるいわゆる「箱物」建築関連では当地方函館市、渡島、松山管内における官庁営繕が自治体を含めほぼ一巡した状況の中で次の発注サイクルまでどの程度の時間がかかるのか予想もつきません。また住宅建設を含む民間の設備投資意欲も現在の景況では先行き不透明であります。しかしこれらに頼らざるを得ないのが現状であります。

従って低価格競争が一段と激しくなり、総じて受注量低下の懸念など相変わらずキビシイ環境が続くものと予想される処であります。

総代会議案書の各種資料に記載されております様に「引込線工事」「臨時引込線工事」「計器工事」「計器受払数」等につきましては、何れも過去二年間の数字より減少しております。

この様に私達組合員の工事件数が減少しつつあるか、横ばいと言う事でありましてこれが本年度においてどの様に変化するのか、願くは工事が増となる様願うのみであります。

従って本年平成十二年度の予算作成につきましては例年通り前年実績比一〇～一二％減という編成で臨むことと致しました。

これには、従来組合員より頂いております工事費手数料の引込線・計器関係は従来の一七％より一五％へ検測工事の七％を五％に引下げ、多少でも組合員の負担を軽減する案も含めての事であり、大変キビシイとは思いますが、現下の諸情勢にてらし適正なる組合運営を行なう所存であります。

前述した様に私共電気工業界の工事が、官庁、民間工事共景気の不透明と社会・経済情勢の大きなサイクルの中で現在では減少の傾向にあります。しかし苦境の時に在っても頼るべきは自らの企業であり業界でありそして組合であろうと考えます。困難にあっても共に扶け合い自力で道を拓いてゆけば自づと明るい展望が開けるものと確信をしております。

幸いにして我が組合自体は北海道電気工業界

合との緊密な連系のもと、北海道電力㈱との良好な関係として組合員皆様のご協力のお陰をもちまして何とか健全な運営が続いておりますが問題は私達組合員の個々の経営であります。お互い情報交換を密にして辛抱強く自助努力を続ける時ではないかと考えます。

次に組合の事業と現状について一部を報告致します

1、組合事務処理のコンピュータ導入であります。昨年導入致し本年四月より正式稼働いたしました。各種支払請求など書類作成とデータ管理等のほかインターネットによる道工業組合、道内各単協更に全日電工連青年部関連の情報交換や事務連絡などにも寄与するものと期待しております。

2、組合窓口における北電の配電グループ、お客様センター業務のネットワークであります。これは現在、北電側の都合で少し遅れておりますが本年中に稼働して北電の工事関連の処理の迅速化に寄与するものと考えられます。

3、全日電工連国民年金基金への加入促進であります。が非法人の組合員とその従業員が対象です。理由としてはお仲間が加入者が増えませんが、理由としては対象組合員の高齢化と、何らかの事情で国民年金に加入されていなかったとも考えられますが、当組合は全道単協の中で現在加入率は最下位であります。新加入組合員の内対象者には加入方をお願い致している処であります。

4、同じく道工業組合で運営する「北海道電気工業厚生年金基金」ですが既に設立後二十有余年を経っております。

我が組合では五十一社五十九名が加入しておりますがここ数年増加しておりません。これは法人で厚生年金加入者が対象で、この基金は事業主、社員共々将来の退職金の上積みと考えると頂ければ決して損な

基金ではありません。全国の電気工業厚生年金基金は北海道を含め八基金ありますが、北海道のこの基金は内容の充実度は第二位と言ひ優良な基金であります。現在百五十億以上の年金資産がありまして信託銀行や投資顧問会社へ運用を委託しております。現在の好調な運営を維持するためにも「分母」となる加入者の増を計らねばなりません。

法人企業組合員の加入方を是非お願い致します。

5、先般来話題となっている電力自由化の一環としてこの三月通産省令が公布され、本年七月一日より施行になる「一般用電気工作物の調査業務」への参入の件であります。

その一つが従来電力会社(保安協会に委託)が行なっていた調査業務に全日電工連の方針としてこれに参入する事が決定されました。全国の工業組合内に別組織を作り北海道工組でもこれに参入する事となりました。内容が固まり次第詳細をお知らせ致します。

6、引込線並に計測器工事に於ける安全作業と電気事故の防止であります。幸い昨年四月以降は管内では無事故で経過いたしました。が「無墜落昇降柱法」を主とした安全訓練を本年も実施いたします。

各支部、各社、各事業所におかれましては安全教育の徹底と指導啓蒙方を宜しく願ひいたします。以上再任のご挨拶を兼ねまして、事業と現況の一部を申し述べさせて頂きました。

本年度、組合員の皆様の御奮闘と御健勝を祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



副理事長に就任して

副理事長
大 鎌 哲 雄



平成十二年第五十二回の総代会において理事に再選され、去る六月五日の役員会において吉田理事長より指名推薦により副理事長に就任いたしました赤

川支部の大鎌です。理事長からの推薦ということでお受けすること致しましたが、責任の重大さに身の引き締まる思いです。組合員皆様のご協力あつての役職だと思っておりますので宜しくお願ひ申し上げます。

私と組合役員との関係は、昭和五十九年一月に赤川支部の支部長をしていた工藤電気社長様が急逝され、その代行支部長として担任しその年の総代会から役員に選出された次第です。当時私は三五歳でしたので支部のまとめや、役員会など当時の大倉理事長や先輩の理事の方に教えていただいて、見よう見まねで始めたことを思い出します。丁度青年部を設立してまだ一年しかたっていないかった時期でした。

それから十数年経ったわけですがその間組合を取り巻く環境も様変わりし、大倉前理事長のご逝去、四十年周年及び五十年行事、週四十時間労働制、第一種・第二種電気工事士制度の実施、一九九〇年代のパブルの経験、など今から思い出すと激動の時代を経て来たのだなと思えます。

今年は二千年の節目で、世の中の価値観・構造・環境の大きな変化が感じられ、経済も低成長の時代になりました。また電気工事業界には技術革新の向上が特に求められています。今後組合という枠の中で何が出

来るかいろいろなことを考えることはありますが、まずは組合員皆様の立場に立つて考えることを基本的にしたいと考えております。

役員の中には青年部出身の方も増えてきました。役員が中心となり組合全体をリードし、組合が中心となって業界を発展させるお手伝いを、微力ではございますがさせていただきますと思っておりますので組合員皆様の御指導、ご鞭撻を宜しくお願ひ申し上げます。

役員会だより

第九回役員会

十二・二・十七

一、慶弔報告

(1) 下山電気商会代表者逝去

(2) 日興電気(株)代表者ご尊父逝去

二、貸付報告

三社一〇〇万円

三、各支部報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

(1) 組合新年会、永年組合員・永年勤続者表彰式の収支決算について

(2) 工業組合理事長表彰受賞者の決定について

(3) 組合脱退申込みについて

(4) 下山電気商会Ⅱ承認(十一・十二・十八)

(5) 組合新規加入の申込みについて

塚田電気設備(中央支部)

加藤電設(東支部)

(向)向陽(北支部)

カサバ通信電気(中渡島支部)

(6) 北海道電気工事業工業組合通常総代会について

五、技術委員会事項

(1) 計測器類業務委託実績について

(2) 北電引込線工事士の認定講習、認定試験について

(3) 北電内線工事業者研修会について

六、事業委員会事項

(1) 第三者損害賠償制度の事故報告について

(2) 大同生命団体共済保険の配当金還付について

十二・四・二四

第一回役員会

一、慶弔報告

(1) ひかり電気工事代表者ご尊父逝去

(2) (株)堀野電設代表者怪我入院

二、貸付報告

四社一四〇万円

三、各支部報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

(1) 北海道電気工事業工業組合通常総代会の報告

(2) 組合脱退申込みについて

(3) 司電気工事店Ⅱ承認(十二・三・三一)

(4) 渡島支庁による電気工手法の立入検査結果報告について

(5) 新加入組合員審査委員会の開催結果について

(6) 定期健康診断の実施結果について

(7) 北電営業所廃止に伴う計測器類業務委託契約の締結について

(8) 受取手数料の改定について

(9) 平成十二年度通常総代会について

(10) 平成十一年度事業報告、決算報告、剰余金処分案について

(11) 平成十二年度事業計画案、予算案について

(12) 平成十二年度役員報酬額、借入金の最高限度額貸付金の最高限度額決定について

(13) 理事及び監事の任期満了による改選について

(14) 管理人室の有効利用について

五、技術委員会事項

(1) 北電引込線工事士の認定講習、認定試験の結果について

- (2) 北電内線工事会社研修会の結果について
- (3) 第一種電気工事士定期講習の実施結果について
- (4) 第二種電気工事士試験受験準備講習会について

第二回役員会

十二・五・二六

一、慶弔報告

- (1) 車電工社代表者病氣入院

二、貸付報告

- 二社八十万円

三、各支部報告並びに提案事項

- 各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

- (1) 会計期末監査報告について
- (2) 代表者の変更について

- 協信電気工業(株) 函館支店
- (株)加藤勝利 (株)工藤定一

- (3) 社名変更について

- (株)北弘電社函館支店 (株)北弘電社函館支社

- (4) 平成十二年度通常総代会について

- (5) 第八回大レクリエーションの実施について

- (6) 北海道電気工業組合全道移動役員会について

- (7) 北海道電気工業組合臨時総代会について

- (8) 労働条件明示のためのモデル就業規則等普及促進事業について

四、技術委員会事項

- (1) 無墜落昇降柱法訓練の実施について

第三回役員会

十二・六・五

一、各支部報告並びに提案事項

- 各支部それぞれ支部会議を開催

二、総務委員会事項

- (1) 平成十二年度通常総代会の報告について
- (2) 副理事長の選任について
- (3) 役員を担当業務について

- (4) 平成十二年度役員会の日程について
- (5) 函館港まつり「ワッショイはこたて」の参加について
- (6) 事務局職員の給与改定および夏期手当の支給について
- (7) 役員報酬の支給方法について

三、技術委員会事項

- (1) 第二種電気工事士試験準備講習会(学科)の実施結果について

組合行事

2月5日 江差支部新年会(竹葉)

- 7日 北海道電気厚生年金基金代議員会に吉田理事長、佐藤副理事長出席(電気会館)

- 全日 中央会道南支部事務長会研修会・新年会に佐藤事務局長出席(ホテル函館ロイヤル)

- 15日 函館地域経済懇談会に吉田理事長出席(国際ホテル)

- 17日 第九回役員会

- 全日 第二回北工連絡会

- 18日 引込線工事士認定講習・試験(組合会議室 〓二十二名受講)

- 全日 中渡島支部会議

- 21日 いなづま編集会議

- 全日 東支部会議

- 22日 第一種電気工事士定期講習会(北洋ビル 〓一三二名受講)

- 24日 道工業組合役員会に吉田理事長、佐藤副理事長出席(ホテルライフオート札幌)

- 全日 道工業組合通常総代会に吉田理事長ほか理事九名、受賞者二名出席(ホテルライフオート札幌)

- 全日 渡島支庁による電気工業法立入検査

- 25日 電気安全セミナーに酒井副理事長出席(北洋ビル)
- 28日 北電内線工事会社研修会(組合会議室 〓二三名受講)
- 29日 全日電工連政治連盟評議会に吉田理事長出席(全日会館)
- 3月1日 いなづま編集会議
- 9日 渡島支庁による電気工業法立入検査
- 14日 新加入組員審査委員会
- 17日 北支部会議(竹葉)
- 21日 中央会道南支部役員会に吉田理事長出席(五島軒駅前店)
- 22日 赤川支部会議、中渡島支部会議
- 23日 中央支部会議
- 23日 渡島支庁による電気工業法立入検査
- 24日 函館商工会議所議員総会に吉田理事長出席(五島軒駅前店)
- 28日 道工業組合全道移動事務局長会議に吉田理事長、佐藤事務局長出席(網走観光ホテル)
- 10日 定期健康診断の実施(組合会議室 〓153名受診)
- 11日 中央会道南支部懇談会に吉田理事長出席(函館地方合同庁舎)
- 13日 引込線工事士本部認定委員会に吉田理事長、佐藤副理事長出席(電気会館)
- 15日 正副理事長会議
- 17日 正副理事長会議
- 18日 労働保険更新手続(組合会議室)
- 20日 道工業組合役員会に吉田理事長、佐藤副理事長出席(電気会館)
- 21日 中央会道南支部総会に吉田理事長出席(ホテル函館ロイヤル)
- 24日 第一回役員会
- 全日 組合・北電懇談会(郁雨荘)
- 28日 会計期末監査(組合会議室)

- 全日 中渡島支部会議
- 5月11日 技術委員会
- 17日 商工懇話会に佐藤事務局長出席(商工中金)
- 20日 中渡島支部会議・観桜会(ホテル入川)
- 23日 中央支部会議、赤川支部会議
- 24日 北支部会議、東支部会議
- 26日 第二回役員会
- 全日 第五十二回通常総代会
- 29日 中央会道南支部事務長運営委員会に佐藤事務局長出席(北洋ビル)
- 31日 第二種電気工事士試験(学科) 準備講習会(組合会議室11二十九名受講)
- 6月2日 平成十二年度建築工事の執行に係る連絡会議に佐藤副理事長出席(道庁)
- 1日 空知協組「電気エネルギーを考える会」に吉田理事長出席(ホテルスエヒロ)
- 2日 第三回役員会(ホテル函館ロイヤル)
- 5日 無墜落昇降柱法訓練(北電旧資材管理所跡地110二名受講)
- 8日 北電配電関係労働災害防止連絡会に酒井副理事長出席(北電函館支店)
- 16日 道工業組合全道移動役員会(ホテル函館ロイヤル)
- 17日 正副理事長会議
- 20日 釧根協組50周年記念式典に吉田理事長出席(釧路全日空ホテル)
- 全日 中渡島支部会議
- 26日 中央会道南支部事務長会総会に佐藤事務局長出席(五島軒駅前店)
- 全日 東支部会議
- 27日 中央支部会議
- 30日 新卒者就職促進協議会に佐藤事務局長出席(渡島支庁)
- 7月2日 第七回大レクリエーション大会(陸上自衛隊函館駐屯地11三三八名参加)
- 7日 建設業災害防止協議会函館支部理事会・総

組合員の異動

- 会に平沼理事出席(建設業会館)
- 12日 第一種電気工事士定期講習会(北洋ビル11四六名受講)
- 13日 函館港まつり責任者会議に佐藤事務局長出席(サン・リフレ)
- 14日 新組合員業務説明会

◎ 商号・組織の変更

- (新) ㈱北弘電社(中央支部)
- (旧) ㈱比弘電社

◎ 代表者の変更

- (新) ㈱石垣電気工事店(東支部)
- (旧) 代表取締役 松永文司
- 石垣昭雄
- ㈱和光電気工事(江差支部)
- (旧) 代表取締役 工藤定一
- 松本榮次郎

◎ 住所の変更

- (新) ㈱新宮電気設備(北支部)
- (旧) 函館市昭和四丁目六〇 函館市昭和四丁目十一
- 一五 十
- (新) ㈱向陽(中央支部)
- (旧) 函館市白鳥町十五一八 函館市富岡町二丁目九一
- 四

◎ 脱 退

- 一、司電気工事店(赤川支部) 平成十二年三月三十一日

組合員の消息

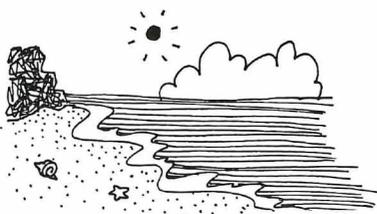
- 一、(有)栄幸電気商会代表取締役今野忠幸殿病氣入院
- 一、(株)堀野電設代表取締役堀野一郎殿怪我入院
- 一、車電工社代表車康平殿病氣入院
- 一、(株)本間組代表取締役本間芳治殿病氣入院

平成十二年

四月 二日 ひかり電気工事代表井上清美殿ご尊父井上秀雄殿ご逝去

六月 五日 ㈱和光電気工事代表取締役松本榮次郎殿ご逝去

六月十三日 ツボ電設工業代表坪光雄殿ご母堂坪みよ殿ご逝去



第52回 通常総代会開催

平成十二年度通常総代会が五月二十六日組合会館大会議室において総代定数八十二名中八十名(うち委任状提出十六名)が出席して開催された。

午後一時三十分開会宣言に次いで挨拶にたった吉田理事長は「昨年は我が国の経済が回復しないままその影響が組合員各企業の経営を圧迫し、厳しい環境にある」に始まり、公共工事については何とかぎりぎりの受注量を確認することが出来た。然し乍ら民間設備投資は前年度に引き続いてますます低調であり、住宅減税も結果的には当初の経済効果が疑問視される。

にもかかわらず当組合の収入面で受取手数料、計測器委託料、保険料などの手数料収入の増により千五百万円の増収であった。また支出面では全般にわたっての支出減により七百万円が予算より下回り、収支合わせて二千二百万円の黒字決算であった。

従って昨年以上の利用分量配当と出資配当を、また全国大会準備金や当組合の周年記念積立金を利益処分として処理させていただきました。

また行事運営面でも総務・技術・事業の各委員会の十一年度予定行事を順調に消化することが出来たことに対して組合員皆様のご協力等に対し謝意が述べられた。さらに本年は役員改選があり、現下の経済状況にてらし平成十二年度予算では昨年同様の緊縮予算で取り組み、組合員の一層の連帯と自助努力を求め、ご協力を期待する旨の挨拶があった。

続いて議長の選出に移り、深見秀治氏(共栄電気工業株)が選出され議事の審議に入った。

第一号議案



平成十一年度事業報告、財産目録、貸借対照表、損益計算書、及び剰余金処分(案) について承認を求める件

第二号議案
平成十二年度事業計画(案) 並びに収支予算(案) について承認を求める件

第三号議案

役員報酬の決定について

第四号議案

平成十二年度組合借入金の高限度額の決定について

第五号議案

平成十二年度一組合に対する貸付金(債務の保証を含む)の最高限度額決定について

第六号議案

理事及び幹事の任期満了による改選について
以上の案件のうち第五号議案まで満場一致の承認のあと第六号議案の役員改選に入った。各支部一名計八名の選挙管理委員を選出し、投票により理事十五名続いて監事三名を選出した。引き続き新役員により臨時役員会が開催され、吉田要氏(函館拓北電業)を理事長に再選した。副理事長については後日選出することを総代に報告し、午後四時四十分総代会は無事終了した。



新役員紹介



副理事長 (赤川支部長)
大鎌 哲雄
昭和二十三年十月生
大鎌電気株式会社
代表取締役



副理事長 (中央支部長)
酒井 好一
昭和十一年五月生
三立電気株式会社
代表取締役



副理事長
佐藤 征次
昭和十三年九月生
佐藤電気工事株式会社
代表取締役



理事長
吉田 要
昭和三年八月生
函館拓北電業株式会社
代表取締役



理事 (福島支部長)
繁田 一義
昭和十九年十二月生
株式会社繁田電工
代表取締役



理事
平沼 冠三
昭和二十四年九月生
権電工業株式会社
代表取締役



理事 (江差支部長)
上戸 優
昭和十三年十二月生
株式会社松山電気工業
代表取締役



理事 (北支部長)
加賀 秀雄
昭和六年八月生
加賀電気株式会社
代表取締役



理事
西岡 大成
昭和二年十二月生
有限会社西岡電気
代表取締役



理事 (東支部長)
伊東 研一
昭和二十二年一月生
ユタ力電機株式会社
代表取締役



理事 (中渡島支部長)
千秋 富夫
昭和十二年九月生
千秋電気工業所
代表者



理事
江端 奨
昭和二十六年二月生
株式会社ヤマト電気工業
所代表取締役



理事
林 一夫
昭和二十五年二月生
日興電気株式会社
代表取締役



理事 (八雲支部長)
館脇 渉
昭和十九年十月生
館脇電気工業株式会社
代表取締役



理事
坪 光雄
昭和十七年九月生
ツボ電設工業
代表者



監事
吉田 好
昭和三十四年十二月生
株式会社谷電気工業所
代表取締役



監事
玉津 眞史
昭和二十六年五月生
タマツ電機工業株式会社
代表取締役



監事
大倉 直
昭和三十五年二月生
大倉電気株式会社
代表取締役

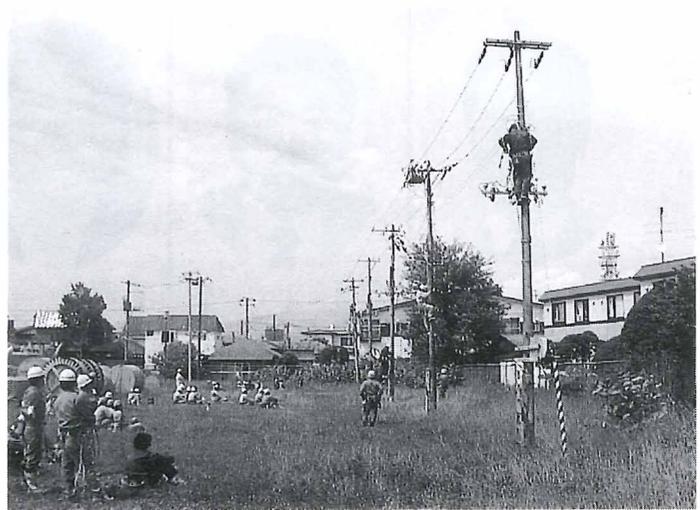


引込線工事士の 認定講習・認定試験

平成十一年度引込線工事士の認定講習・認定試験が二月十八日(金)に組合会議室において実施され、新たに三十一名の引込線工事士が誕生し、当組合の認定者は一四二八名になりました。
本年度認定者の内訳は次のとおりです。
申請のみによる認定者 九名
受講のみによる認定者 四名
試験合格による認定者 十八名
なお、引込線工事士には無墜落昇降柱法の講習が義務づけられており、更に三年毎の再講習を受けなければならない事になっておりますのでご注意ください。

引込線工事士 無墜落昇降柱法訓練

引込線工事士を対象とした無墜落昇降柱法訓練が六月六日(火)に北電旧資材管理所跡地で実施された。
当訓練は三年に一度必ず受講しなければならない事になっており、今年二月に新たに資格を取得した三十一名を含む一〇二名が受講した。
当日は午前・午後の部に分れ、ビデオによる昇降柱の基礎知識を学んだ後、模擬電柱を使用しての実技訓練が行なわれ全員熱心に受講した。
業務多忙の中、講師を務めて下さいました北電函館支店配電Gの皆様には誌上をかりて厚くお礼申し上げます。
又、江差支部(六月二十日、二十六名)、福島支部(七月四日、二十五名)、北松山ブロック(七月十四日、二十八名)においてもそれぞれ北電各営業所の協力を得て実施された。



第一種電気工事士 定期講習実施

電気工事士法第四条の三の規定による、第一種電気工事士定期講習が(財)電気工事技術講習センターの主催により、二月二十二日、七月十二日の二回いずれも函館北洋ビルにおいて開催され、延べ二七八名が受講した。
ご承知のとおり、第一種電気工事士は五年ごとの定期講習が義務づけられており、受講しない場合は法律に違反することになり、電気工事士法第四条第六項の規定により免状の返納を命ぜられることがありますのでご注意ください。

北海道電力(株) 内線工事会社研修会

平成十一年度内線工事会社研修会が二月二十八日(月)組合会議室において午前・午後の二回実施され、延べ一二三名が受講した。

当研修会は当組合が北電函館支店に要請し、直轄管内内線会社の実務担当者を対象に毎年実施しているもので、北電の配電、センター、営業開発、料金の各グループよりそれぞれ最近の状況等について説明があり、組合員側からも意見や要望が出されるなど有意義な研修会に終了した。



第八回 大レクリエーション開催

恒例の大レクリエーション大会が七月二日(日)に陸上自衛隊函館駐屯地のグラウンドを会場として今年も開催された。

早朝より会場設営等で協力した青年部の諸君の祈りが届いたのか今年は晴天に恵まれ絶好のレクリエーション日和となった。

準備も整いつつある午前九時半過ぎには続々と参加者が詰めかけ三五〇名を越える参加人数で午前十時の開会式を迎えた。

對馬青年部長の開会宣言、大会長の吉田理事長の挨拶、来賓の北電函館支店小山営業部長、北海道電気資材卸業協同組合函館支部加藤支部長の二氏から祝辞を頂いた。

続いて全員でラジオ体操を行ない体をほぐした後、ジャンケン大会を皮切りに競技に入った。今年のメイン競技は昨年雨天の為実施出来なかった支部対抗キックベース大会で早速一回戦四試合の熱戦が始まった。各試合とも盛り上がりファインプレーや珍プレーの続出で拍手と爆笑が絶える事なく、応援合戦も賑やかに繰り広げられた。一回戦、準決勝を勝ち抜いた北支部と中央支部の決勝戦となり激戦の末七対六のスコアで北支部が初優勝の栄冠に輝いた。キックベース大会に並行して紅白玉入れ、借物ゲーム、女性の椅子取りゲームを行ない大いに盛り上がった。

昼食で青年部の手作りの料理を頂いた後、ビンゴゲーム、大会最後の大抽選会が行なわれ、いつもながらの歓声と溜息が聞かれ大レクリエーションも終わりに近付いた。

閉会式では吉田大会長よりキックベース大会の優勝チーム北支部と準優勝の中央支部に各々理事長杯を手渡した後、実行委員長の佐藤副理事長より、大会が盛



会裡に終わったこと並びに準備に苦労された青年部に対する労いと、協賛して載いた北海道電力と各電材会社に対し御礼の挨拶で無事閉会となった。

あなたが
防ぐ電気事故
電気使用安全月間

2000/8.1→8.31

主催 通商産業省

電気工事は登録(届出)標識のある工事店で

電気使用安全のため漏電遮断器を取り付けましょう

主催 全日本電気工業業組合連合会
各ブロック組合連合会
各都道府県電気工業業組合

後援 自治省 消防庁
各都道府県
日本放送協会

追悼記



（株）和光電気工事代表取締役
役松本榮次郎氏は去る六月
五日五十二年の生涯を終え
られました。

松本氏は昭和二十四年松
山郡上ノ国町で生を享けら
れ、長じて昭和三十九年に
東京都内の会社に勤務、そ

の後江差町の共栄電気工業（株）、函館市の（株）北電工で技
術の研鑽を積まれました。

昭和四十九年四月に現在の（株）和光電気工事の前身で
あります新栄電気工事を開業し、昭和五十三年二月に
私たちの函館地方電気工事協同組合に加入されました。
優秀な技術と良心的な仕事は内外線工事をはじめ、
特に特別高圧・送電線の工事では道内はおろか本州各
地に進出するなど着実に業績を伸ばし、業界並びに地
域の発展に多大な貢献をされました。

故人の生前の功績を偲び、謹んでご冥福をお祈りし
て追悼の記とします。

合掌



新加入組合員の紹介

平成十二年度加入の方をご紹介します。

(加入年月日) 平成十二年四月一日

塚田電気設備 (中央支部)



塚田 喜代文

昭和二十九年七月十五日生
函館市住吉町八一十四
電話二二一七七三

(㈲) ッカ電工を経て、平成十一年二月独立開業



加藤 秀明

昭和二十九年九月六日生
函館市戸倉町九一五
電話五七一七六八

巴電工舎、(㈲) カトウ電工を経て、平成十一年十二月独立開業

(㈲) 向陽 (中央支部)



岡田 武

昭和十八年十月六日生
函館市白鳥町十五一八
電話四二一八九〇

樺電工業㈱、佐藤電気工事㈱、(㈲) 共友電工を経て、平成八年十月独立開業



笠羽 一治

昭和二十三年五月八日生
上磯町東浜二丁目十六一二十八
電話七三二七五七九

(㈲) 本間電設、泰興通信㈱、電気通信保全センター㈱を経て、昭和五十七年四月独立開業

編集後記

○早いもので今年も半年が過ぎてしまいました。当組合は第五十二回総代会も無事終了し再任された吉田理事長をはじめ新しく役員になられた方々も含めて順調に行事等を消化しながら運営されているところですが、景気回復は一向に先が見えず、全国的にも暗い事件や事故がマスコミを賑わし函館管内でも展望の開けそうな話も希少と考えると暗くなるばかりの昨今ですが、考えてみますと歴史的に見てもかなり変革期(何年後かに明らかになると思われます)の最中なのだと思います。

この様な時代の真只中ですので私共の業界も間違いないかなりの荒波に洗われていると思われれます。私共ひとりひとり前後左右を良く見又自分の足元を特に良く見て前向きに進みましょう。

その様な時代の中で組合活動や組合のあり方も徐々に変化しなければならぬのでは、いや事実変化し又進歩して来ている今日だと思います。

今でも検査業務や保守業務への取組み等問題は山積されています。新役員及び組合員の英知を結集して社会が必要とし組合員にとってもなくてはならない組合をめざしてほしいと願っています。

○いなづま編集部員もやっとその作業に慣れてきました。本年は三月、七月、十一月と予定どおり三回発行出来そうです。一年に三回発行しますと少々のネタ不足が心配されます。各支部の活動状況や御意見御要望、忠告などどしどし投稿して下さいれば幸いです。

皆様の協力を得ましてより良い組合機関紙をめざしています。今後とも御支援の程よろしくお願い申し上げます。

次代の変化にこたえる感性
総合販社

東芝E&S北海道株式会社

函館支店

〒040-0062 函館市大縄町二十二番十四号
電話 四一―一二二―四一



快適を科学します

松下電工株式会社

函館出張所

〒041-0824 函館市西桔梗町五八九番地一〇七
電話 函館 四九―一五二―五

電気設備機器資材の総合卸社



大興電機株式会社

本社 041-8515 函館市西桔梗町五八九―三二一
社 041-8515 函館市(代)四九―一六二―一
本通商用品 041-0851 函館市本通一丁目二五―一
セブンアイ 041-0851 函館市本通一丁目二五―一
営業所 049-3104 山越郡八雲町内浦町二三四―一五
電話 〇三六―三三―一三二―六九

未来環境を語る・造る

株式会社 工三ヤ

函館営業所

〒041-0811 函館市富岡町二丁目四一―一七
電話 四三―一三〇―一(代表)
本社 札幌・営業所 釧路、苫小牧

電気工事材料
音響通信機器
総合商社

石垣電材株式会社

函館営業所

本社 060-0006 札幌市中央区北六条西二丁目三番二
支社 053-0006 札幌市中央区北六条西二丁目三番二
支社 053-0006 札幌市中央区北六条西二丁目三番二
函館営業所 040-0074 函館市小牧四丁目一五番二
支社 040-0074 函館市小牧四丁目一五番二
支社 040-0074 函館市小牧四丁目一五番二

松下電工(株)代理店
日立電線(株)特約店

北進商事株式会社

〒040-0021 函館市的場町十九番二十二号
FAX 五五―一三二―四一
電話 五五―一三二―四一

情報社会をパフォーマンスする



田中商事株式会社

函館営業所

〒040-0072 函館市亀田町十三番八号
電話 四〇―一〇八―〇〇
本社・東京 営業所 札幌、札幌東、釧路

電設資材総合卸

有限会社 アイワ電材

〒041-0824 函館市西桔梗町五二四番十五号
TEL 〇三―三八―四九―一三三―三六
FAX 〇三―三八―四九―一三三―三六

